

で用いる用語は極力わかりやすい、一般的な用語に置き換えている。

学会発表など任意のタイミングで、そのままLODとして外部公開することができるので、外部組織との連携やアウトリーチ活動にも活用でき、公益活動にも研究シーズを活用できる可能性がある。

本システムは、構造化されたタスクをツリー形式で表示することにより、後から参加した人に見やすく整理された情報を提供することが可能になる。この機能を用いることで、流動性の高い活発な市民共創を支援することができる。

6. まとめ

本稿では、MissionForestのツリーエディタによりタスクを構造化することで、共創プロジェクトの全体像が把握しやすくなり、それが新規参加者に対する情報共有促すという仮説を示した。またこれにより、様々な地域の市民や様々な組織の研究者によるオープンイノベーションに繋がれることを提案した。

今後は外部サービスと連携させられるようWebAPIを開発し、みらいらぼやWeb議論システム「COLLAGREE」[5]との連携による協働プロセスのアーカイブ化など、より実効性の高い協働支援のできる目標共有システムを開発していく予定である。

謝辞

本研究の一部は、JST CRESTおよびJSPS科研費(25870321)の支援を受けた。

参考文献

1. “市民共創知研究会”. <http://www.itolab.nitech.ac.jp/SIG-CCI/index.html>, (参照 2016-11-14)
2. "みらいらぼ". <https://mirai-making.herokuapp.com>, (参照 2016-11-14)
3. 白松俊, Teemu Tossavainen, 大園忠親, 新谷虎松. 社会課題とその解決目標のLinked Open Data化による目標マッチングサービスの開発. 人工知能学会論文誌, 31(1), pp. LOD-C_1-11, 2016.
4. 後藤誉昌, 白松俊, 組織内外における協働支援のため

の目標共有システムの試作, 電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会 2016

5. Ito, T., Imi, Y. Ito, T. and Hideshima, E. COLLAGREE: A facilitator-mediated largescale consensus support system. 2014 Collective Intelligence Conference, 2014.